

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施策	①環境保全等に対する県民参画の推進
			施策の小項目名	○産学官の連携・協働ネットワークの構築及び指針や調査結果等の情報公開
主な取組	連携・協働ネットワークづくりの推進		対応する成果指標	環境啓発活動参加延べ人数
施策の方向	<p>・県内の環境教育・環境保全活動に携わる県民、事業者、NPO、研究機関、行政が一体となった産学官の連携・協働ネットワークを構築し、各主体の情報交換や相互交流の場の創出に取り組むとともに、「生物多様性保全利用指針OKINAWA」や「レッドデータおきなわ」など県が策定した指針や調査結果を積極的に公開し、県民が容易にアクセスできるよう取り組むことで県民参画を促し、自然環境の保全等に関する計画づくりを推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>県民等に対する環境教育を推進し、本県の豊かな自然環境を次世代に継承するため、「第2次沖縄県環境教育等推進行動計画」に基づき、庁内組織からなる幹事会と各種組織からなる協議会を設置して、進捗管理を行う。</p>	<p>県</p>	環境教育等推進行動計画の進捗管理		
		環境教育等推進行動計画推進協議会の開催数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2064 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/saisei/taisaku/kankyoyoukyouiku/0006.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	環境教育行動計画等推進事業			予算事業名	環境教育行動計画等推進事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	3,293	3,733	県単等	直接実施	3,402
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
令和5年度の第2次沖縄県環境教育等推進行動計画の実施状況を取りまとめ、進捗管理を行った。				令和6年度の第2次沖縄県環境教育等推進行動計画の実施状況を取りまとめ、進捗管理を行う。		

活動指標名	環境教育等推進行動計画推進協議会の開催数(累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		3回	1回	1回	1回(3回)	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和5年度の各施策の取組結果をまとめた報告書について、学識経験者・民間団体・県民・県や市町村等で構成される協議会委員への報告の目標1件に対し実績1件だったことから順調と判定した。

令和6年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ○県民一体となった環境保全体制の構築に向け、企業、大学、NPO、自治体など産学官の連携・協働のネットワークづくりに努める。 ○本協議会を通じて、関係機関と環境教育に関する連携や情報共有を図る。 ○本協議会を通じて、関係機関と環境教育に関する連携や情報共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全活動団体交流イベントを開催し、県民一体となった環境保全体制の構築に向けた活動団体間のネットワークづくりを図った。 ・第2次計画における令和5年度の実績をとりまとめ、協議会委員あてに報告し、本行動計画の進捗管理を適切に実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	豊かな自然環境を次世代に継承するため、引き続き自然環境保全に対する県民参画の推進に努めるとともに、環境保全の重要性など環境問題に対する県民の意識向上に取り組む必要がある。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	持続可能な社会の担い手づくりに通じる環境教育の取組は、SDGsの達成に向けて、必要不可欠である。



4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	県民一体となった環境保全体制の構築に向け、企業、大学、NPO、自治体など産学官の連携・協働のネットワークづくりに努める。
② 連携の強化・改善	本協議会を通じて、引き続き関係機関と環境教育に関する連携や情報共有を図る。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施策	①環境保全等に対する県民参画の推進
			施策の小項目名	○産学官の連携・協働ネットワークの構築及び指針や調査結果等の情報公開
主な取組	生物多様性に係る情報公開の促進		対応する成果指標	環境啓発活動参加延べ人数
施策の方向	<p>・ 県内の環境教育・環境保全活動に携わる県民、事業者、NPO、研究機関、行政が一体となった産学官の連携・協働ネットワークを構築し、各主体の情報交換や相互交流の場の創出に取り組むとともに、「生物多様性保全利用指針OKINAWA」や「レッドデータおきなわ」など県が策定した指針や調査結果を積極的に公開し、県民が容易にアクセスできるよう取り組むことで県民参画を促し、自然環境の保全等に関する計画づくりを推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
生物多様性保全利用指針OKINAWAやレッドデータおきなわ及びおきなわ生物多様性情報プラットフォーム等の情報の公開およびデータを更新する。	県	生物多様性保全利用指針OKINAWAやレッドデータおきなわ等の情報の公開及びデータの更新		
		情報の公開及びデータの更新数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2243 】	関連URL	https://www.okinawa-ikimono.com/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	生物多様性地域戦略事業			予算事業名	生物多様性地域戦略事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	4,609	4,499	県単等	委託	4,505
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
<ul style="list-style-type: none"> おきなわ生物多様性情報プラットフォームを更新するなど情報発信に努め、生物多様性保全利用指針OKINAWA（正式版）の公開に向けて調整した。 				<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性保全利用指針OKINAWAの公開に向けた調整を進め、ホームページで公開する。また、引き続き関連サイトを更新し情報公開する。 		

活動指標名	情報の公開及びデータの更新数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	4回	4回	1回	1回(3回)	100.0%	順調	おきなわ生物多様性情報プラットフォームを更新した。また、生物多様性保全利用指針OKINAWA（正式版）の公開に向けて取り組むとともに、引き続きレッドデータおきなわをホームページで公開した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

生物多様性情報プラットフォームを更新し、目標回数を達成したことから順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○生物多様性保全利用指針OKINAWAの策定目的、利用方法、位置付けについて昨年度の検討を踏まえ調整を進める。	○生物多様性保全利用指針OKINAWAの策定目的、利用方法、位置付けなどを踏まえ、わかりやすい周知方法について検討し、引き続き公開に向け調整した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	生物多様性保全利用指針OKINAWAの暫定版のみの公開となっており、完成版の公開にいたっていない。



4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	生物多様性保全利用指針OKINAWAが適切に利用されるよう、わかりやすい内容になっているかなど、公開内容を検討し、完成版を公開する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施策	①環境保全等に対する県民参画の推進
			施策の小項目名	○県民参画の仕組みづくり
主な取組	環境保全啓発事業（環境ボランティアマッチングの促進）		対応する成果指標	環境啓発活動参加延べ人数
施策の方向	・ 県内企業・団体・個人による環境保全活動の促進及びボランティア支援を推進するとともに、生物多様性の保全をはじめとする社会課題解決に多くの県民が参画できる仕組みの構築に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県の環境教育の拠点である「沖縄県地域環境センター」のホームページ上で、環境保全活動を希望するボランティアと地域のニーズ(各種団体等の要望)をマッチングすることで、県民の環境保全活動への参画を促進する。	県	地域課題ニーズとボランティアのマッチングに係る実施状況を踏まえた環境ボランティアセンターの設置の検討		
		ボランティアマッチングの実施件数(累計)		
		5件	10件(15件)	15件(30件)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2064 】	関連URL	https://kankyo-center.okinawa/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	地域環境センター等管理運営等事業費			予算事業名	地域環境センター等管理運営等事業費	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	16,227	18,166	県単等	委託	18,436
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
<p>沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動団体等の情報発信を実施し、県民の環境保全活動への参画を促進した。</p>				<p>沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動団体等の情報発信を実施し、県民の環境保全活動への参画を促進する。</p>		

活動指標名	ボランティアマッチングの実案件数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	25件	14件	8件	15件 (30件)	53.3%	大幅遅れ	<p>沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動を希望するボランティアと地域のニーズ (各種団体等の要望) をマッチングするため、年間を通して、環境保全活動団体の活動情報等を発信した。</p>

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄県地域環境センターのホームページ上で環境保全活動団体の活動情報等を発信したところ、154件の閲覧数があった。閲覧数の5%について、環境保全活動を希望するボランティアと環境保全活動団体をマッチングできたとし、目標値15件に対し実績8件とした。ボランティアに関する閲覧数が前年度290件に対し154件のため目標には達しなかったが、環境保全活動団体のマッチングのため継続して情報発信を行う。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
<p>○沖縄県地域環境センターのホームページを活用した情報発信を継続して行うとともに、対象者のニーズに合ったマッチングを展開する。</p>	<p>沖縄県地域環境センターのホームページを活用した情報発信を年間を通して実施し、対象者のニーズに合ったマッチングを展開した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	<p>県民による地域に根差した環境保全活動への参画を促進するため、沖縄県地域環境センターを中核に据えた事業を継続して実施する必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	<p>沖縄県地域環境センターのホームページを活用した情報発信を継続して行うとともに、対象者のニーズに合ったマッチングを展開する。</p>

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施策	②環境保全の意欲の醸成
			施策の小項目名	○保全利用協定の締結促進
主な取組	自然環境の保全利用協定締結推進事業		対応する成果指標	①沖縄県地域環境センターの来場者数（講習会受講者数を含む） ②①のうち教育委員会等と連携して実施する講習会受講者数
施策の方向	・環境保全型自然体験活動に係る事業者が、環境保全と利用に関するルールを事業者間で自主的に策定・締結する保全利用協定の締結促進に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
適正な環境保全と利用に関するルールとしての保全利用協定に関し、締結地区および締結候補地区のサポートや保全利用協定制度の魅力向上を図る。	県	協定の締結支援、勉強会・制度説明会の開催		
		保全利用協定新規締結地区数(累計)		
		1地区	1地区(2地区)	1地区(3地区)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2243 】	関連URL	https://sustainable-tourism.okinawa/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	自然環境の保全利用協定締結推進事業			予算事業名	自然環境の保全利用協定締結推進事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	6,401	5,788	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	6,097
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
保全利用協定の新規締結に向け候補地区における勉強会やヒアリング、座談会などを通じた支援を行った。				保全利用協定の新規締結に向けた会合やヒアリングの実施、既存の県知事認定地域の協定締結事業者向けにマッチングや補助金交付など通じた支援を行う。		

活動指標名	保全利用協定新規締結地区数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1地区	0地区	2地区	1地区(3地区)	100.0%	順調	保全利用協定の新規締結に向けてヒアリングや申請補助による支援を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

保全利用協定新規締結地区数について、目標1地区に対し実績2地区だったことから、「順調」と判定した。

令和6年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ○地区毎の課題に留意しながらも、補助金制度の活用も含め、保全利用協定制度の魅力向上に向けて取り組む。 ○関係自治体との連携にも注力し、新規締結に向けた支援に継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○県内10地区でヒアリングを行い、地域毎の支援の方向性と共に、本制度の課題などについても確認した。 ○協定締結候補地で活動するエコツアー事業者や候補地となっている市町村にも座談会に参加を呼びかけ、他地域との情報共有や意見交換を行うことで、理解促進に繋げた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	保全利用協定の締結を推進するうえで、協定制度の更なる認知度向上を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	観光事業者等や来訪者にも協定内容が認知されるよう、観光事業者等とのマッチングや協定締結事業者への補助金交付による協定締結地域の活動支援を通じて、協定制度の認知度向上を図る。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施策	②環境保全の意欲の醸成
			施策の小項目名	○環境保全意欲の醸成に向けた環境教育の充実
主な取組	環境保全啓発事業（出前講座等による環境保全活動の促進）		対応する成果指標	①沖縄県地域環境センターの来場者数（講習会受講者数を含む） ②①のうち教育委員会等と連携して実施する講習会受講者数
施策の方向	・環境保全活動の啓発に向けて、広く県民を対象とした「おきなわ環境教育プログラム集」の普及・活用等を推進するとともに、学校教育においては、自然環境に親しむための体験学習や総合学習等を通して、次代を担う子どもたちの環境保全の意欲の醸成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県の環境教育の拠点である「沖縄県地域環境センター」において、県民の環境保全意識の向上を図るための環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を実施する。	県	沖縄県地域環境センターによる環境保全普及啓発活動の実施		
		出前講座等の活動回数(累計)		
		65回	67回(132回)	70回(202回)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2064 】	関連URL	https://kankyo-center.okinawa/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名 地域環境センター等管理運営等事業費				予算事業名 地域環境センター等管理運営等事業費			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度			
				主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	16,227	18,116	県単等	委託	18,436	
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画			
<p>沖縄県地域環境センターによる環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を企画・実施した。</p>				<p>沖縄県地域環境センターによる環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を企画・実施する。</p>			
活動指標名	出前講座等の活動回数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	122回	81回	97回	70回 (202回)	100.0%	順調	<p>沖縄県地域環境センターにおいて、県内全域を対象に学校や地域等での出前講座や自然観察会、啓発イベント等の環境保全啓発活動を年間を通して実施した。また、センターのHPやセンター情報誌で環境情報を発信した。</p>

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄県地域環境センターにおいて出前講座や自然観察会、啓発イベント等の各種啓発活動を目標値以上の97回開催し、環境学習・体験活動の機会を提供した。また、HPや情報誌等で環境教育プログラムの活用例の紹介、体験活動・体験イベント参加の呼びかけ、こどもエコクラブの活動の紹介をするなど、環境情報を発信したことから順調と判定した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
<p>○対象者のニーズや満足度等を把握するため、アンケート調査等を行うことで、各種啓発活動の向上につなげる。 ○リモートやオンラインでの啓発活動を継続して行うとともに、対象者のニーズに合わせた啓発活動を展開する。</p>	<p>・対象者からの希望に応じて出前講座を開催した。また、地域環境センターホームページやX、Facebook、Instagramで情報を発信した。 ・効果的な啓発活動とするため、環境教育プログラム集を活用した講座のほか、学校機関等の要望を事前に取り入れた上で、目的に沿った出前講座を開催した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	地域に根差した啓発活動を展開するためには、沖縄県地域環境センターを中核に据えた事業を継続して実施する必要がある。
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	啓発活動の多様化 (リモートやオンライン開催等) や社会情勢を踏まえて事業展開を継続して行う必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	対象者のニーズや満足度等を把握するため、アンケート調査等を行うことで、各種啓発活動の向上につなげる。
⑥ 変化に対応した取組の改善	リモートやオンラインによる啓発活動の体制を継続するとともに、対象者のニーズや社会情勢を踏まえて啓発活動を展開する。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施策	②環境保全の意欲の醸成
			施策の小項目名	○環境保全意欲の醸成に向けた普及・啓発
主な取組	ちゅら島環境美化促進事業（普及啓発）		対応する成果指標	①沖縄県地域環境センターの来場者数（講習会受講者数を含む） ②①のうち教育委員会等と連携して実施する講習会受講者数
施策の方向	・ごみのポイ捨て・不法投棄の防止、海浜の節度ある利用等について、広く県民の環境保全意欲の醸成に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
空き缶や吸い殻等の散乱を防止し環境美化の促進を図ることを目的として、行楽シーズンや12月の年末大清掃の時期に合わせて、メディア、イベント等を活用した県民への普及啓発を図る。	県	環境美化に関する県民意識向上のための普及啓発活動等の実施		
		環境美化に関する啓発活動の実施数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	環境部環境整備課	【 098-866-2231 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/seibi/ippan/chura-seisou-top.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	ちゅら島環境美化促進事業			予算事業名	ちゅら島環境美化促進事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	2,709	2,672	県単等	直接実施	743
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
ちゅら島環境美化全県一斉清掃及びその他のイベントと併せて広報活動を行い普及啓発活動を実施した。				ちゅら島環境美化全県一斉清掃及びその他のイベントと併せて広報活動を行い普及啓発活動を実施する。		

活動指標名	環境美化に関する啓発活動の実施数(累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	3回	3回	3回	2回(6回)	100.0%	順調	強化月間・各種イベント数については、県庁ホール及び県立図書館でパネル展を開催し、11月の「県民環境フェアin北中城」でも普及啓発を行い、計画どおり3回実施することができた。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

強化月間・各種イベント数については、強化月間では県庁ホール及び県立図書館においてそれぞれパネル展を開催し、11月の「県民環境フェアin北中城」でも普及啓発したことにより、計画どおり3回実施することができたことから、進捗状況を順調と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
各種イベント等については、多くの県民へ関心を持ってもらえるよう、県民ホールや県立図書館以外の場所でも実施する等、内容を工夫する。	強化月間において、県庁ホール及び県立図書館でパネル展を開催した他、多くの県民に関心を持ってもらえるよう、11月の「県民環境フェアin北中城」でも普及啓発を図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	各種イベント等について、多くの県民へ関心を持ってもらえるよう、より効果的な啓発が可能な手法や場所等を検討する必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	各種イベント等については、多くの県民へ関心を持ってもらえるよう、県民ホールや県立図書館以外の場所でも実施する等の場所を検討するほか、啓発内容についても工夫して実施していく。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施策	②環境保全の意欲の醸成
			施策の小項目名	○環境保全意欲の醸成に向けた普及・啓発
主な取組	県民参加型外来種防除の実施		対応する成果指標	①沖縄県地域環境センターの来場者数（講習会受講者数を含む） ②①のうち教育委員会等と連携して実施する講習会受講者数
施策の方向	・ごみのポイ捨て・不法投棄の防止、海浜の節度ある利用等について、広く県民の環境保全意欲の醸成に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
県民の外来種対策への参画を促進するため、県民参加型の外来種防除イベント等を開催する。	県	ツルヒヨドリ等外来種防除イベントの実施			
		外来種防除イベントの実施回数(累計)			
		3回	3回(6回)	3回(9回)	
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課		【 098-866-2243 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 外来種対策事業				予算事業名 外来種対策事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	434,037	424,608	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	498,853
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
やんばる地域において、外来植物駆除イベントを開催した。また、グリーンアノール防除イベントを5回開催した。				外来植物駆除イベントを開催する。また、グリーンアノール防除イベントを2回開催する。		

活動指標名	外来種防除イベントの実施回数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	3回	3回	6回	3回(9回)	100.0%	順調	外来植物防除イベント1回に36名、グリーンアノール防除イベント5回に153名の参加があった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値3回に対して実績値6回であり、目標を達成したことから取組は順調に進捗している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○より多くの参加者を集めるため、多様なイベントの開催や効果的なイベント情報の発信方法の検討等を行っていく。	より多くの参加者を集めるため、地元行政や地域、関係機関へ周知を図った。効果的な発信方法については、YouTubeチャンネルに外来種問題や外来種捕獲方法の動画を展開するとともに、事業で構築したウェブサイトを用いた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	多くの県民が本県の豊かな生物多様性を認識し、外来種と在来種の区別や外来種対策の必要性について理解を深め、県民一丸となった取組に繋げていくため、県民参加型の取組を充実させる必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	防除イベントにおいて外来種と在来種の特徴等に関する教育を実施するとともに、防除の表彰制度を取り入れ、より効率的な実施を図るなど、多様なイベントの開催や効果的な情報発信を行っていく。